

【専門基礎分野】

科目名	解剖生理学Ⅱ (呼吸、循環、血液、免疫)	講師名	専任教員 (10) 岡山医療センター医師 (8) 教育主事 (12)	学 年	1	履 修 期	第1学期
単 位	1単位						
時間数	30時間						
講師実務経験	専任教員：看護師としての臨床経験あり。 教育主事：看護師としての臨床経験、看護管理者としての実務経験あり。						
授業概要	身体の構造と機能を系統的に理解し、また、生命維持のメカニズムに関連した生理機能と構造との関連性を学ぶ。						
授業科目目標	1. 呼吸、循環、血液のしくみと機能について理解できる。						
授業計画	<p>1～4回：呼吸器系</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 呼吸器の解剖と生理</li> <li>2) 呼吸器の正常と機能</li> <li>3) 呼吸器系の病態生理</li> <li>4) 検査法</li> </ol> <p>5回：血液・体液・電解質</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 血液の組成と機能</li> </ol> <p>6～8回：生態の防御機能</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 非特異的防御機能</li> <li>2) 特異的機能－免疫 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 免疫に関与するリンパ球の機能</li> <li>(2) 液性免疫、細胞性免疫、免疫について</li> </ol> </li> <li>3) 生体防御の関連臓器 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) リンパ節、粘膜付属リンパ組織と扁桃、胸腺、脾臓</li> </ol> </li> </ol> <p>9～14回：循環器系</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 心臓の構造</li> <li>2) 心臓の拍出機能</li> <li>3) 心電図</li> <li>4) 心臓と血管 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 末梢循環系の構造</li> <li>(2) 血液の循環とその調節</li> <li>(3) リンパ管の構造とリンパの循環</li> </ol> </li> <li>5) 血圧の調節</li> </ol> <p>15回：まとめ 1H 終了試験 1H</p>						
評価方法	筆記試験						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能[1] 解剖生理学, 医学書院.						
参考書	1. 美田誠二：からだのしくみが目で見てわかる 得意になる解剖生理, 照林社.						
学生へのメッセージ	人々の生活を支える看護を実践するためには、人体の知識が不可欠です。看護学生にとって人体の構造と機能を理解する上で、解剖学・生理学の学習は大変重要です。日々の予習、復習をしっかりとって講義に臨んでください。						